



話好きな関西の  
おばちゃんです。

街で見かけたら、  
いつでもお声掛けください!!

特集 地域おこし協力隊

## わたしたちが 「おおまち」で できること。

大町町では現在6人の地域おこし協力隊が、自分の経験・能力を生かし地域活性化に向けて活動されています。

今回は、地域おこし協力隊の紹介「第1弾」として、大町町でどのような活動をされているのかなど、2人の協力隊についてご紹介します。



地域おこし協力隊

うえはら ちあき  
**上原 千晶 さん**

プロフィール

出身地：兵庫県

好きな食べ物：ぶどう

苦手な食べ物：納豆

**Q** 協力隊になる以前は何をされていましたか。

上原 認可保育園の園長をしていました。

**Q** 地域おこし協力隊になろうとしたきっかけはなんですか？

上原 過疎地域で、より親子に寄り添った子育て支援を普及していきたいとの思いから。生粋の関西人なので「九州」という未知の文化圏に興味を抱き、あちこち巡りながら見聞を広げたいと思ったからです。

**Q** 地元と大町町の違いはありますか？

上原 「夜の暗さ」です。当初、あまりの暗さに驚愕しましたが、今は星空の美しさに魅了されています。また、公共交通機関の種類や便数の少なさにも驚いています。車中心となり歩くことが減り、脚の衰えを感じています(汗)

**Q** あなたの活動内容をお話してください。

上原 子育て広場「こんぺいと」とフリースペース「ペリドット」(主に子どもの居場所の運営をしています)。

**Q** 実際に大町町で活動してみて、感じたことは？

上原 地域の皆さんがとても親切で、気さくに関わってくださることで、

**Q** これまでの活動で、最も印象に残っていることややりがいを感じたことは何ですか？

上原 日々、「人」と関わることのできるこの仕事に、とてもやりがいを感じています。これまでにいろいろなエピソードがあり、どの場面を選ぶか悩みますが、企画段階から子どもたちとつくりあげたことも縁日に、大人も子どもも大勢の人が参加

してくださり、終始、笑い声に包まれ和やかな雰囲気だったことが心に残ります。子育て広場の親子や子どもの居場所の児童生徒が、それぞれの場でさまざまな経験を通してより主体的に「自己」を発揮する姿を応援することや、老若男女、さまざまな「人」の交わりにおいて、そのつながりを膨らませていくことに喜びを感じています。

**Q** 今後の目標は？

上原 これまで以上に、地域で暮らすさまざまな人と交流する機会(多世代交流、多文化共生等)を増やし、いろいろな経験を通して子どもたちのアイデンティティを育んでいきたいです。

**Q** 最後に町民の皆さんへ

上原 子育て広場「こんぺいと」では、温かみのある木のおもちゃや手作りおもちゃを中心に、発達に合ったおもちゃを用意し、絵本の貸し出しも行っています。

時には「ほっこりカフェ」でホットと一息つくのもよし！季節を味わう手仕事で発散するのもよし！開催日時などは大町町ホームページ子育てサイトをご覧ください。

**子どもの居場所「ペリドット」**では、多種多様な遊びの要素を提供し、子どもたちが主体的に活動することを促しています。時には調理体験や季節のイベントを行い、さまざまな経験を通して子どもたちの力を育みながら安心して過ごせるよう、見守っています。

地域の皆さんのご参加も大歓迎です！

こんぺいと



konpeito\_kosodate

ペリドット



peri\_freespace